



① 基地で遊んでみませんか？

12月9日(日)、どろんこクラブが作った基地。
中ではゆっくりくつろぐことも出来ます。2月
末までの期間限定！ぜひ遊んでね。



② どんぐりの芽

どんぐりがこんな風に芽を出すことをご存じで
したか？茶色の皮の割れ目からきれいな赤色が
のぞいていてそのコントラストがとてもきれい
です。春に向けてどんぐりも準備中。



③ 落ち葉のベッドでお昼寝しませんか？

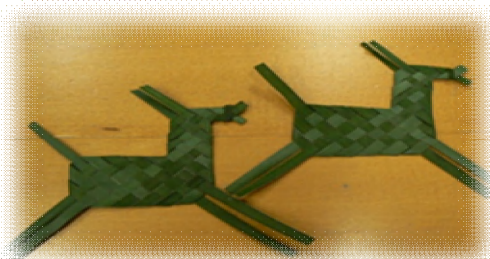
ぽかぽかの太陽の光がさしているお昼、ふかふ
かの落ち葉のベッドの上に寝転がれば・・・太陽
の光が当たった葉っぱはより美しいオレンジ
色になり、大きな木を下から見上げればいつも
とは違う視点から冬の木の雰囲気を感じることが
出来ます。こんなのにびりとした時間を公園
で過ごすのはいかがでしょうか。

作成：埼玉大学 実習生 岩野 沙緒里
監修：パークマスター



④ オギの迷路で冬を感じませんか？

葉の色づきや風の冷たさだけで冬を感じるだけで
なく、オギが奏でる「カサカサ」という音を聞いて、
耳で冬の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。



⑤ シュロで工作しませんか？

シュロの葉っぱで「馬」のおもちゃが作れます。親子
で協力しながら作ってみてはいかがでしょうか？作
り方を書いた用紙は管理棟前に用意してあります。
ぜひどうぞ。



⑥ らくがきストリートってご存じですか？

昔は路地の壁や道路にチョークでらくがきが出来
ましたが、今、まちの中ではらくがきは禁止されて
しまっているため、子どもたちは道路にらくがきす
る楽しさを知らないまま大きくなろうとしていま
す。しかし、古河総合公園のらくがきストリートで
は何も気にせず思いっきりらくがきを楽しむこと
ができます。大人も子どもも一緒になって道路をい
う大きな画用紙に思いっきり絵を描いて楽しんで
みてください。



①蓮池～真冬の楽しみ方～

去年、蓮池のどろをほりあげたことで、一年を通して池に水がはれるようになりました。すると、予期せぬことにカルガモやダイサギがやってくるようになりました。



②何が出るかな？

1月19日(土)、もりもりクラブで公方様の森の下草を刈って、一角に野草の観察ポイントをつくりました。これからどんな植物が芽を出すのでしょうか。チェックしてみてください。



③ふじ棚を建てかえました！

ふじ棚の柱は、園内にあったシラカシ、カイヅカイブキを再利用。カイヅカイブキのごつごつとした手触りをお楽しみください。



④園内～雪景色～

四季を通しささまざまな表情をみせる自然。寒い季節だからこそ出会える景色があります。二年ぶりに雪のふり積もった公園で、おもいっきりあそんでみませんか？



⑤つくってみよう！

シュロの葉をつかって工作してみませんか？葉っぱ2枚で、簡単でかわいいお魚が出来ます。つくり方を書いた紙は管理棟前にございます。ぜひ挑戦してみてください。



⑥春が待ち遠しい

一足早く開花した赤い梅〔八重寒紅〕。白い梅〔白加賀〕も着々とつぼみをふくらませています。開花は3月上旬ごろ。寒～いこの季節、あまく香る梅の花を咲かせるために日々成長しているつぼみたち。開花の第一発見者はあなたかも！？



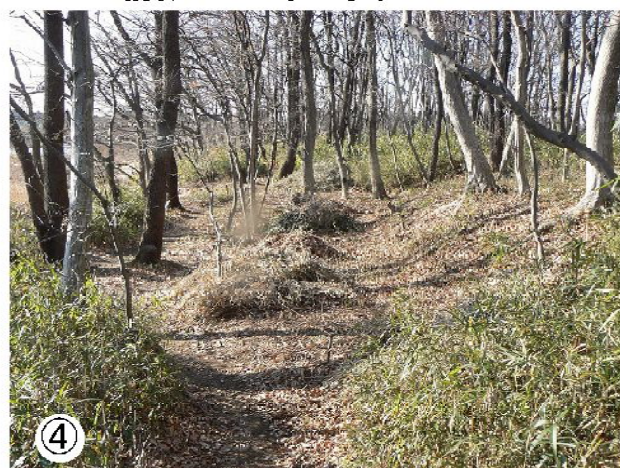
①
地下水をくみ上げて透き通った中山の池
これまで御所沼の水を循環させていま
したが、昨年、井戸をほって、今年から、
地下水に変わりました。夏が楽しみ！



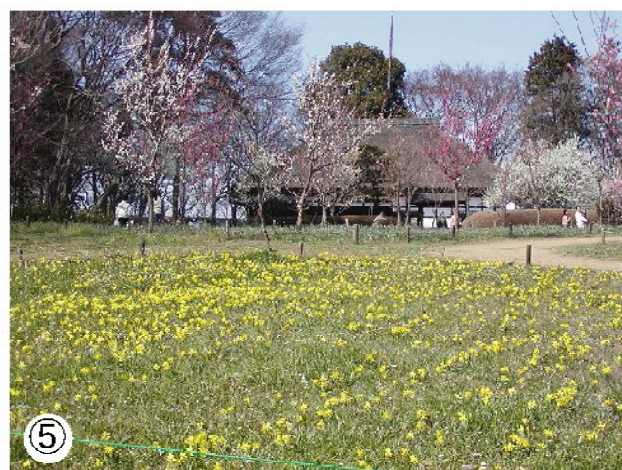
②
新装開店のジェラテリア
ペンキを塗り替えて再出発。前庭の雪華園
を眺めながら優雅なひとときを。桃まつり
に向けて新商品が登場する予定！



③
空から総合公園を見てみませんか！
3/20からの土日・祝日に開催。高さ20～30
m程まであがります。大人1000円、子供500
円。天候により中止することがあります。



④
公方様の森で春の野草の観察
もりもりクラブで、森の南斜面の下草を刈
りました。タチツボスミレの葉も顔をのぞ
かせ始めました。大切に見守ってね。



⑤
3種の水仙が1ヶ月間楽しめます
テータテート（3月中旬から）、オレンジ
リー（3月下旬から）、サロメ（4月上旬か
ら）が、梅林の下一面を染めます。



⑥
日和山から南エリアを一望
沼、野原、雑木林・・・里の春を味わって
下さい。遠くに渡良瀬川の堤防、その先
には赤城山も望めます。



げんぺいもも
源平桃

①

源平桃は花が紅白になります、競うように咲揃、平氏の紅旗、源氏の白旗の源平合戦のようで、源平の旗色にちなんで名づけられました、4月上旬が見頃です。



きくもも
菊桃

②

桃まつりが終わっても、まだまだ花桃は終わってません、菊桃が4月上旬から4月下旬にかけて見頃を迎えます、菊桃は花びらが細長く、一見、菊の花のように見えることから名がつけられました。



イロハモミジの花

③

秋には鮮やかに紅葉して、来園者の目を楽しませてくれる、イロハモミジの花は春この時期に目洗い池の東側でひっそりと咲いています。



④

きれいになったジェラテリア

きれいになったジェラテリアには行きましたか？桃まつり前に改装のためお休みした、ジェラテリアは桃まつり前に元気にオープン、4月からは新メニューも加わるかも？



⑤

鯉のぼり

桃の節句の次は端午の節句、天高くそびえるポールから、たなびく鯉のぼりが5月上旬まで楽しめます。下には、黄色のじゅうたん菜の花畑、場所は中山台の真ん中です。



⑥

新緑の公方様の森

いよいよ暖かくなってきた公園は、徐々に鮮やかな新緑に染まっています。シデやコナラ、クヌギがいっせいに芽を吹き、林の下ではタチツボスミレなどが花を咲かせます。



よつばのクローバー発見！

よつばのクローバーは、幸福のしるしと言われていますが、そのいわれの起源は古いようです。芝生広場や公園のあちらこちらに生えていて正式名称はシロツメクサです。たまには広場でよつばのクローバー探しなんて面白いですね。もりもりクラブ川田さんが探してきてくれました。



メダカの学校開校です。

古河総合公園のメダカの学校もいよいよ開校したようです。蓮池や菖蒲池のまわりにはたくさんのメダカのグループが楽しそうに泳いでいます。まわりにはカエルや鳥たちも来ていっそうにぎやかになってきました。



民家園の藤の花

花桃がおわって、古河総合公園をしっとりとかがざるのは、藤の花です。民家園には2ヶ所、遊具広場には1ヶ所、牧ノ地道から菖蒲園周辺にかけて数ヶ所の藤棚がみごとに咲いています。見頃は5月中旬頃まで



蓮池の黄菖蒲と蓮の芽

蓮池では、黄色の花をつけるが咲き始めました、また蓮のちいさな芽がでて一日一日と大きくひろがっています、夏に大輪の花を咲かせるまで蓮の葉は、池を埋め尽くしていきます。黄菖蒲は5月末頃まで楽しめます。



お茶畑に新芽がたくさんでました。

民家園の南斜面に広がる茶畑では、今たくさんのあざやかな黄緑色の新芽がでています、この新芽は一番最初に採れることから一番茶と言われるお茶の材料になります。この新芽は、5月11日に行なわれる、「ふるさと古河新茶まつり」で訪れた市民の皆さんに茶摘み体験で摘まれ、手もみして製茶されることになります。



清涼な井戸水のせせらぎ

去年、古河総合公園では御所沼にきれいな水を入れて浄化を行うために井戸を掘りました、その水は中山台の広場から湧き出てせせらぎとなり、遊具広場を通り池に流れ込んでいます。夏でも冷たい水はこれから子供たちの遊んだ足を冷やす清涼な水となるでしょう。



① 渋くてすっぱい

新久田道からホツツケ田へと下る坂はぐみ坂と言います。グミ（グミ科）は今はお菓子の名称として親しまれていますが、もともとはこのグミの実からとった名称でしょう、その甘すっぱくて渋い実は昔の子供たちの野遊びの時に口を楽しませたことでしょう、この時期は一番熟して真っ赤になり鈴なりになっています。



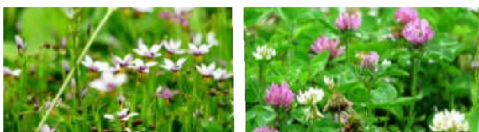
② 相ノ谷橋から駒力崎の森へ

相ノ谷橋から駒力崎の森に通じる新久田道は、クワ（クワ科）が生えています。昔はカイコの飼料としてたくさん植わっていたものでした、カイコは絹糸の材料となる糸を出す蛾の食料となり古河でも明治頃までは養蚕業が盛んでした。クワの実（じゆく）は熟すと濃い紫色になり食べられます。



③ 梅雨の主役

初夏へ入る時期に古河総合公園の主役はアジサイです。桃林の導入路から中山台に抜ける小道にはたくさんのアジサイが植えられています。初夏になりうっそうとした緑のアーチに華やかに咲きそろいます、6月中旬からが見頃です。



④ 御所沼の水草

御所沼には、たくさんの水草が生えています、マコモ・ガマ・ヨシ・ジュンサイなどや外来種のおオカナダモなども繁殖しています、また珍しいタヌキモなどもあります。写真はこれから日を追うごとに沼面を覆いつくすヒシです、ヒシはひし形と呼ばれる形の元になった植物です、実は食用となります。



⑤ こぶし野のお花畑

こぶし野のお花畑の主役は、ニワゼキショウ（アヤメ科）とムラサキツメクサ（マメ科）です。ニワゼキショウは小さくてもアヤメと同じ種類、ムラサキツメクサは、シロツメクサと同じ種類ですが、葉はシロツメクサより少しおおきく名前のとおり花は紫色になります。

⑥ 水鶏坂知ってますか？

水鶏坂は古民家から公方様の森と梅林を抜けて御所沼に下る坂です。しっとりと雨振る梅雨の季節に静かな感じさせます、水鶏坂地名碑の隣には、ニワトコの赤い実が鮮やかに彩を添えています。





①

青々とした稲の葉

ホツケ田は、御所沼の南側斜面にあります。湿地で田を作っていたこの地方の人たちの歴史を再現した農の風景です。公園で活動しているどろんこクラブが田植えをしました、どじょうやカエルが住み着いて、青々とした稲の葉が沼面を渡る風に揺れています。



②



干拓水門

かつて御所沼は、渡良瀬川につながる大きな湿地の中の一つの沼でした。古河公方様が住んだ森を囲んで広がるその沼から戦後に干拓事業によって水が抜かれ、埋めたられてしまいました。市民の願いによって今では掘り起こされて満々とした水をたたえています。写真は当時からの干拓水門、もぐっちょの入江の奥にあります。



③

夏の清涼散歩小道

公園の西境には、サワラの木立が境界沿いにあります。その林の中を細い小道が繋がっています。夏の暑い気温の中を涼しい風が通り抜けやわらかい雑木チップを踏みしめながらのお散歩はとっても気持ちいいですよ。ところでサワラとヒノキの見分け方はご存知でしょうか、葉っぱの裏側をのぞくと白いH型の筋があるのがサワラ、Y型の筋があるのがヒノキです。



④

地下100メートル！

中山台のせせらぎの水は、井戸を掘って地下100メートルから引いています、その温度は13℃冷たいお水に足をつけて読書や水遊び、大きな木で涼みながらランチなど、楽しみ方はたくさん！自然のクーラーは古河総合公園の真ん中でみんなが来るのを待っています。



⑤



悠久の歴史に思いを

桃林の真ん中辺りに、こんもりとした杉の木立の中に徳源院跡があります。室町時代から戦国時代に於て、この地に居を構えた古河公方一族の足利義氏とその娘の氏姫の墓があると言われています。中に入るとひんやりとした空気と頬杖をついた石仏が出迎えてくれます、悠久の歴史に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



①

七夕案山子のお仕事

管理棟前に立っていた七夕案山子、次の役目は本来のお仕事です。いたずら小鳥たちから稲の穂を守るホツケ田の監視人に任命されて、今ではホツケ田の石碑にくくりつけられています。たった一人でがんばるその姿を皆さん励ましに行きあげてくださいね。



今年もでてきたよ！ ②

公方広場に流れる二入川に、去年の夏に突然生えてきたのは、ミズワラビ（シダ植物門ホウライシダ科）、調べてみると茨城県では希少種RAランクでした、田んぼの畦に生えることが多く最近ではほとんど見ることの出来なくなった植物でした、青々とした葉は水中と水上では葉の形が違ふようですよ？夏の間にすることが出来ます。



③

水辺のトンボひらひらと

いつからか御所沼の畔には沢山のトンボが飛来するようになりました。写真のトンボはチョウトンボ（トンボ目トンボ科）です、ひらひらと蝶のように滑空しながら舞う姿は可憐でお洒落な飛行士といった感じです。相ノ谷橋の周辺には他の様々なトンボと共に華麗な飛行ショーを見せてくれます。



④

ガガブタ

ガガブタって変な名前ですね？ガガブタ（ミツガシワ科アサザ属）は漢字で書く鏡蓋と書くそうです。つまりカガミブタから訛ってガガブタと言われるようになったようです。花びらは白く毛が生えたようで、小さく可愛いものです。コイ池で沢山の花を咲かせています。夏の間は見られるようです。



⑥

中山のせせらぎと百日紅

中山のせせらぎは夏の公園の人気スポットいつも冷たい地下水で遊ぶ子供たちが絶えません、冷たい水に足を浸けて上を眺めると、そこには濃いピンクに鮮やかに咲き誇った百日紅が夏の太陽に負けじと揺れています。



⑤

公園文化財に認定！?

中山台の遊具広場には、公園が開園した当時に立てられた古いブランコが今も現役で活躍しています。その形は昭和の時代を感じさせる、レトロでクラシックな造形をしています。でも、今でもたくさんの子供達をその両肩にぶら下げて頑張っています、いつまでもその勇姿？を子供達に見せてあげてね！



②お月見^{つきみ}の季節^{きせつ}です！

今年の十五夜^{じゅうごや}は9月14日(日)。
12～14日には管理棟前^{かんりとう}でススキの
配布を行います。古河市では、ス
スキ5本・おだんご15個^{かざ}を飾るのが主
流だとか！今年は総合公園のススキ
を見ながら晩酌^{ばんしゃく}といきましょう。
(9月中盤^{ちゅうばん}～)



①ぬけがら^{さが}探^{たひ}しの旅

小さい頃にセミのぬけがらを見つけて大はしゃぎした人も多いはず！今日のお散歩ではちょっと視点を変えて、ぬけがらを探してみたいかがでしょうか？
(～9月前半)



③忍者^{にんじや}でおなじみ“ヒシ”

水の上にいっぱい浮いているのは“ヒシ”と呼ばれるひし形の葉っぱ。葉の下にとげとげした実がつきます。どこかで見たことはありませんか？そうこれが「まきびし」の元となったのです！
(9月後半～)

○ 総合公園内に咲いている小さな花を探してみよう！



キツネノマゴ

シソ科 多年草
別名: チョロギダマシ

ガガブタ

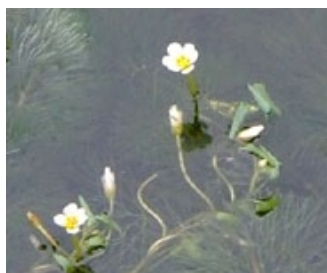
ミツガシワ科 水草
午前中がねらい目です

カタバミ

カタバミ科 多年草
自ら種子をはじき出す

ツククサ

ツククサ科 一年生植物
午後はしぼんでしまう



タカサブロウ

キク科 一年生植物
熱帯アメリカ原産

ハゴロモモ

ハゴロモモ科 水草
朝の水面はお花畑

ヘクソカズラ

ヘクソカズラ科
指でこするとくさい

ヨメナ

キク科 多年草
道端に咲く菊の一種



①

ホッツケ田の稲の天日干し

ホッツケ田では、どろんこクラブが大切に育ててきた稲を、昔ながらのハンレンで天日干しています、今では機械で刈取り脱穀袋詰めまでやってしまいますので、なかなか見られることがなくなっていました。10月半ばまで天日干をしています。



④

ちょっと汗かいてみませんか？

古河総合公園の真ん中にドンとそびえるのは、富士見の丘です。空気が澄んで晴れた日の朝には、筑波山や浅間山、そして富士山など関東の名だたる名峰が見えるかもしれません。

また、御所沼や公方様の森など総合公園を一望できる公園の見晴台です。



②

じゅうさんや

十三夜は10月11日です。

今年の中秋の名月（十五夜）はきれいな月夜になりました、そして今月の11日は十三夜です、昔から十五夜とセットになって月を愛でる行事として親しまれてきました。写真は新久田道に生えるススキです、管理棟では、10月10日からススキを配布しています。



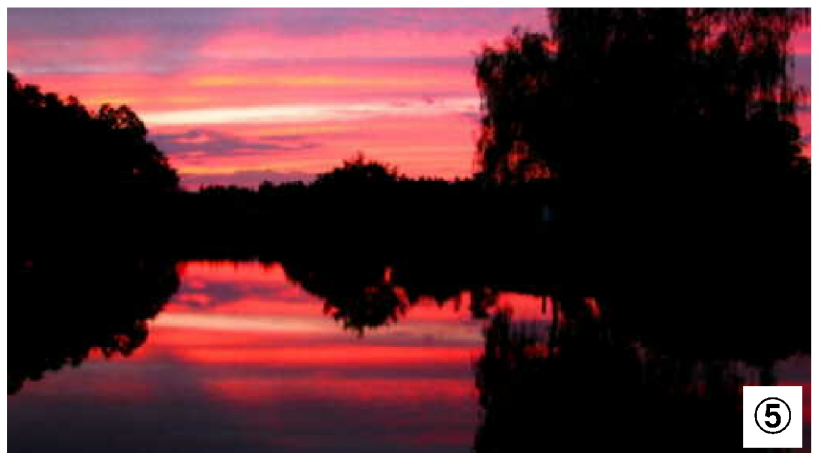
③



ヒシの実

ヒシって知ってますか、ひし形のヒシは、この植物の葉に由来しています。

まず、ヒシ科/ヒシ属で沼や池などに浮遊する植物です、秋になると毎年、御所沼の水面を覆いつくすこの植物を和船に乗って刈ります、そしてこのヒシの実硬くてとがってて触ると刺さりそうなトゲが突き出ていて、その昔には忍者が追っ手をまくのに使用したそうです、しかしその皮をむくとそこには栗に似たおいしい実が出ています、昔はおやつやヒシご飯として食べたそうです。



⑤

夕焼け小焼け！

空気が澄んだ秋には、ぜひ夕方日の沈む頃にいらっやいませんか、御所沼に沈む夕日に空が真っ赤に染まっていることに会おうかも知れませんね。

日の沈む水辺でしばし物思いに耽ってみるなんてロマンチックな楽しみ方もありますよね。写真の夕日は去年の10月17日に御所沼の東側にある管理棟から見られたものです。



①

イモころがしの坂

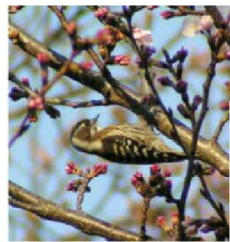
古河総合公園には、面白い名前の付いた場所がたくさんあります。ここはイモころがし坂、秋冬は夕富士の絶景ポイント。昔この坂道のあたりはサツマイモの畑がありました、その歴史に思いをよせています。



②

真っ先に染まる垣根は？

お茶畑の日が当たる斜面の道と古民家を区切るのは、真っ先に赤く染まるドウダンツツジ（ツツジ科ドウダンツツジ属）です、この垣根が赤く染まると古河総合公園に秋がやってきます。



③

穴を空けたのはだれ？

徳源院跡の入口のエゴの木に丸い大きな穴を三つぽっかり開けたのは、誰でしょう？それはキツツキでしょうか、公園にはコゲラ（上）と、アカゲラ（下）がいます、共にキツツキ目キツツキ科です。これは繁殖の終わった巣穴で、これらは毎年巣を作るそうです、来年はどこにつくのかな？

キツツキ類の写真典：フリー百科事典『ウィキペディア』



④



菖蒲田の見張り番

蓮池と菖蒲田の西側斜面に黄色く染まった、一本の木は、カツラの木です。カツラはカツラ科カツラ属の落葉高木で、葉っぱは丸くて可愛いハート型、山地では溪流沿いなどで見られます。この木は枝を切っても複数の枝が出て株立ちするため昔は薪として利用され里山の木の一つでした。



⑤

相野谷橋の二重景観

秋から冬になって木々の葉っぱが落ちたら、遠くまで見える総合公園の景観を楽しみませんか？この写真は相野谷橋と重なった、天神橋（上）と春草席（下）どちらも夏の生い茂った季節では見難いです。お気に入りの景観を見つけてみませんか。



⑥

秋の総合公園のベストポイントは！

御所沼に映った紅葉を楽しみたいなら、御所沼を南北に仕切って架かる天神橋の上から眺めるのはいかがでしょうか、この橋から見える御所沼と公園は景観を楽しむ人からは好評のポイントです、静かな水面に映る雪華園の紅葉と富士見の丘の紅葉が水面に美しく映えますね、この写真は去年の11月下旬の天気の良い日に撮影しました。

ゆきはなえん どころ
雪華園のお休み処、ジェラテリアの頭
越しにによきり突き出た三つの、ト
ンガリ帽子？なんだと思いますか？実
は雪華園の冬支度なんです。寒季節に、
霜や雪氷などから、庭の植物を守るた
め、昔から日本人は色々なことを考
えてきました。

ア. 雪吊り 冬に雪や氷が付着して重
くなった木の枝が重みで折れたりしな
いように、ワラ縄で枝を吊りました。
これが雪吊りです。

イ. 冬囲い 樹木を冷気や霜、雪など
から守るためにワラやムシロなどを巻
きつけて保護するものです。雪囲いと
もいいます。

ウ. コモ巻き 松の木の幹に、ワラで
できたコモを巻きつけると、冬の寒さ
をさけるため、害虫たちがワラの中で
冬眠します。そのワラを春先にはずし、
一緒に焼却することで松を守ろうとす
るものです。参考出典：フリー百科事
典『ウィキペディア (Wikipedia)』

古河総合公園てくてく情報2008年12月号悠々散歩

雪華園のトンガリ帽子はなあに？



①



ア



イ



ウ

くりくり坊主頭の新久田道

ごしよめす らくようじゆ
御所沼の南側、すっかり冬支度した落葉樹のあいだを
のんびりお散歩すると、見えてくるのがくりくり坊主
に刈られたまん丸頭？夏の間に道の両側を飾って、秋
に真っ白綿帽子でお月見させてもらった、あのススキ
の刈り跡です。(左写真は刈る前)
枯れてしまったわけではなくて、
来春には、また青々とした
若葉がかわいらしく伸びて
きますよ。新久田道の両脇
で待ってます。みんな見に
来てね。



②



③



④



⑤

どれがどの山

左に見える三つの山はどれがどの山？総合公園の
あちこちから見える関東の名峰、日本一の山の
写真です。もうお分かりですね？

③は、富士見の丘から見える群馬県の浅間山です。

④は、イモころがし坂の頂上、別名：富士見峠から
見える、もちろん富士山です。

⑤は、筑波見の丘から天神橋の肩越しに見える。
茨城の名峰、筑波山です。

冬は、落葉樹の葉が落ちて、見晴らしのいい季節、
天気の良い晴れた日の朝は、関東の大地図を片手に
持って、総合公園で名峰鑑賞会はいかがですか。